

令和2年度 第5回 伊勢市障害者施策推進協議会 自立支援部会 議事録（要旨）

開催日時：令和3年1月5日（火）午前10時～12時

開催場所：伊勢市役所 東館5-3会議室

出席委員：市川知律会長、浦田宗昭委員、竹澤尚美委員、森見典子委員、大田桃子委員、直江敦代委員、中川佳代委員、川口幸生委員、三上政和委員（欠席：岡田まり委員）

事務局：伊勢市障害者総合相談支援センター フクシア（基幹型）職員2名

傍聴者：3名

●障がい福祉課課長より

- 4月以降は本会も含め新たに体制を作ることとなる。基幹相談支援センターの見直しも行うので、自立支援部会もスムーズな引継ぎを兼ねて検討してほしい。障害福祉計画の策定については、パブリックコメントも受付しておりご意見を頂きたい。地域生活支援拠点について市からの提案も行う予定。

各プロジェクトチームの共有・今後の検討

●人材確保・養成チームからの報告。内容については以下のとおり。

- 中学生への福祉の仕事の啓発 ○求職者との出会い ○支援者支援
- ヘルパー確保・養成のためのシステムづくり ○交流会や研修会の開催【人材定着】
- 目指すべき人材の指標とその養成研修の仕組みづくり

●人材確保・養成チームから施策推進協議会への報告・提案内容

- ①中学生への「福祉の仕事」啓発 ②就職面接会の開催 ③交流会や研修会の開催
- ④ヘルパー確保・養成のためのシステムづくり
- ⑤目指すべき人材の指標とその養成研修の仕組みづくり

【各委員より】

- 伊勢市介護職員初任者研修費等助成事業の、障害分野事業所への対象拡大について
- ビジネスパーク伊勢への講師の参加、サービス事業所等連携会議の開催
- 施策推進協議会への報告資料について、各テーマの目的や目標を記載した方が良い

●就労支援チームからの報告

- 「障がいのある方の就労」について、「周知・啓発」の取組みの具体化について協議
 - ・情報発信について動画等について提供したい
 - ・障害者雇用の事例を知ることが重要
 - ・障害者雇用の仕事内容や好事例、既存の有益情報等を発信できるといい
 - ・障害種別ごとの理解を深めるパンフレット等の周知

●就労支援チームから施策推進協議会への報告・提案内容報告

- 障害者雇用に関する理解促進につながる周知啓発を行っていく
- 障害者雇用優良企業への市長等からの表彰制度創設の提案や、障害者雇用への取り組みスローガンの設定の提案を検討していきたい

●交流会の実施報告

○家族会発表 ○自立支援部会 報告 ○質疑応答・感想 等

●障害福祉サービス事業所等連携会議の開催について

○以下の内容で開催予定

- ・地域生活移行 ・日頃の課題 ・事業所間の交流連携 ・ヘルパーと訪問看護の連携
- ・福祉的就労の向上

○サービス事業所の動画紹介

●新たなプロジェクトチームの必要性について

○これまでの自立支援部会への地域課題報告等を踏まえ、医療的ケア児者支援チームの必要性について検討

○医療機関との緊急時のネットワークが必要 ○医療的ケア児者の進路先の少なさ
⇒部会として、チームの必要性について合意し、詳細は事務局で検討する。

●地域課題共有会議

○個別会議から地域課題を地域全体で共有し、障がい者の地域生活の実情や社会資源の現状についての情報交換や評価を行う事及び既存資源による課題解決や、自立支援部会として取り組んでいくべき地域課題の確認を行うことを目的。

【各委員より】

○障害分野の専門性を持った会議だと意味がある。

○伊勢市として相談支援の資源を検討するチームがあると良い。

○どのように計画化していくのかビジョンが見えずらいため具体的な案はあるのか。

⇒来年度については未定のため、チームの必要性の提案で留めておいてほしい。地域課題への取組みについての報告はしてきたが、経緯の共有がされていないと感じるため、今後は地域課題を全体で共有する場が必要では。ということが運営会議での議論となってくる。

○地域課題を取りまとめ、解決に向けた PDCA を作成することは重要。

○課題共有だけで解決についてはどのように対応するのか。

⇒運営会議ではそこまでの議論は現段階ではできておらず、具体的な方法等については今後の検討課題になってくる。意見として声を上げる場がなかったため、その場所を作り、進め方や解決のイメージをもう少し具体化できればと思っている。

●来年度について

○令和2年度 年間振り返り

- ・全体目標、短期目標について達成を図っていく
- ・「障害者雇用等の周知・啓発」の発信予定
- ・人材育成チームからの事業等についての必要性の提案
- ・相談支援体制（基幹型相談支援）の評価は、基幹型評価の仕組みを理解し行った

○令和3年度 年間計画

- ・交流会は複数回開催予定 ・医療的ケア児者支援チームの新設

○他団体や家族等の発表機会の必要性 ○コロナ終息後も Web 会議継続の必要性